

# 令和5年度群馬県教育委員会の点検・評価委員会結果概要

## 1 期 日

第1回 令和5年6月15日（木）13:30～15:30

第2回 令和5年7月 6日（木）13:30～15:30

## 2 場 所

県庁舎24階 教育委員会会議室

## 3 審議事項

(1) 令和5年度 教育委員会の点検・評価（令和4年度対象）の進め方

(2) 令和5年度 教育委員会の点検・評価に係る各所属の自己評価に対する意見について

## 4 委員の主な意見

別紙『令和5年度点検・評価委員会（第1回、第2回）における主な意見と対応について』のとおり

## 5 結論

委員の意見に基づき、自己点検・評価案を修正し、教育委員協議会での協議、教育委員会会議での決定を経て、県議会へ提出・公表した。

## 令和5年度点検・評価委員会(第1回、第2回)における主な意見と対応について

基本施策 1		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
・特別な支援を必要とする生徒の就労支援について、生徒の就労に対する意欲向上、保護者の関心の高まりなどが見られ、進路ガイダンス等の取組が効果的に行われている。また、実習先が十分に確保されるとともに、生徒の特性を踏まえた上での業務内容を検討していただける企業が増加したことも評価できる。	評価できる点	第1回
・主権者教育及び消費者教育について、子どもたちに親しみやすい方法で、自ら考えて問題解決をしようとする力を育成する取組が進められている。	評価できる点	第1回
・児童生徒の英語力が着実に向上している。ルーブリックを活用した評価に関する学校現場の理解が進んでおり、今後も効果的にルーブリックを活用しつつ、学習の目標を明確にした英語教育を展開していく必要がある。	評価できる点	第1回
・産業教育設備について、学校を見学すると、かなり古い機械が使われている。社会に出てすぐに使える技術を身に付けさせるため、計画的な更新及び修繕を進めてほしい。	課題	第1回
・留学や海外研修は、実際に現地の人と交流できる貴重な機会である。新型コロナの影響で実施が困難な状況が続いてきたが、今後、改めて促進していく必要がある。	課題	第1回
基本施策 2		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
・学習習慣の確立に向けて、家庭・地域との連携を深めるための施策が講じられている。	評価できる点	第1回
・理数教育の推進について、数学コンテスト、数学キャンプなどを通じて、子どもたちの学習意欲を高める取組がなされている。	評価できる点	第1回
・理科の授業において、実験・観察等を通じた本物に触れる体験を重視した教育が行われている。	評価できる点	第1回
・身につけた知識をアウトプットする力は社会に出てからも大変重要な能力であるため、学校教育の中でも、ディスカッション等を通じて自分の考えを表現する教育活動を、より一層推進していく必要がある。	課題	第1回
・今後、授業におけるICTの活用を進めていくに当たり、ICTを使う場面、本物を体験させるべき場面をよく検討し、本物に触れることによる驚きや感動を伝えることを大切にしてほしい。	課題	第1回
基本施策 3		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
・群馬県は全国と比較しても非常に高い割合でいじめの認知がなされており、小さないじめも見逃さない体制を構築するための努力が見られる。	評価できる点	第1回
・Gライフログの取組は、児童生徒の日々の心理状態を含む健康状態を記録し、教職員で共有できるため、悩みや不安を持つ児童生徒の支援に有効である。	評価できる点	第1回
・いじめ等の問題は、学校内部だけでなく、外部の専門家などとの連携を密にして対応していく必要がある。	課題	第1回
・悩みや不安を持つ児童生徒が、身近な人に自分の気持ちを相談し、援助を求めることは非常に重要である。学校内でも相談しやすい環境の整備を進めるとともに、児童生徒が自分の気持ちを表現できるスキルを身につけさせる必要がある。	課題	第1回
基本施策 4		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
・群馬県の児童生徒の体力について、全国平均より高い数値が出ており、各学校の取組の成果が見られる。	評価できる点	第1回
・部活動における外部指導者の活用が着々と進んでいる。教員にも生徒にも有益な取組であるので、今後も推進してほしい。	評価できる点	第1回
・学校給食における食物アレルギー対策について、県全体でより高いレベルの対応ができるよう、検討を進めていく必要がある。	課題	第1回
・特に高等学校における部活動の在り方に関連して、「生徒募集のための部活動」にならないよう留意する必要がある。また、少子化の影響もある中、複数校の混合チーム編成を促進する等、柔軟な視点から在り方を見直していく必要がある。	課題	第1回

基本施策 5		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
・教職員研修が効果的かつ効率的に実施されており、内容の充実だけでなく、受講者の負担軽減も図られている。	評価できる点	第2回
・教育相談の充実に関して、ケース会議の開催方法等を示したリーフレットの活用などを通じて、各学校における体制整備が進んでいる。	評価できる点	第2回
・教職員研修について、受講者のキャリアアップにつながるような群馬県独自の工夫があるとよいのではないか。また、特にオンデマンドの研修では、受講者が確実に能力を身につけられるよう、内容及び評価方法を工夫する必要がある。	課題	第2回
・教育相談について、特に若手教員が円滑な相談・支援を行えるよう、過去の事例及び効果的な対応方法を引き継いでいく必要がある。	課題	第2回
・教育関係職員へのストレスチェック事業について、Web受検の導入後に受検率が低下しており、本事業の意義を各教職員が十分に理解できるよう、更に周知していくことが必要である。	課題	第2回
・教職員がより心にゆとりを持って業務に当たることができるよう、休暇や休憩を柔軟に取得できるよう工夫するなど、働き方の改善を進める必要がある。	課題	第2回
基本施策 6		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
・高校生の自転車ヘルメットの着用率が着実に上昇しており、施策の効果が現れている。	評価できる点	第2回
・各学校における防災・安全対策を進めるに当たり、担当教員だけでなく、全ての教職員の意識や技術を向上できるよう、取組を更に工夫していく必要がある。	課題	第2回
基本施策 7		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
・幼児教育に関する研修について、受講者からのニーズに応じたテーマで実施することができるのは、非常に有効である。	評価できる点	第2回
・家庭の教育力向上に関する取組について、各種団体との連携・協働が積極的に行われている。	評価できる点	第2回
・家庭教育に関する情報をより多くの保護者が得られるよう、SNSの活用を推進する等、取組の更なる充実が求められる。	課題	第2回
基本施策 8		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
・群馬県の社会教育では、施設における資料の展示等と併せて、ICTの活用方法にも工夫が見られ、「リアルとデジタル」の両面から力強く取組を推進している。	評価できる点	第1回
・障害者の生涯学習について、群馬県では学校卒業後の学びの機会が限られていると感じるため、他の自治体の取組も参考にしながら充実を図っていく必要がある。	課題	第2回
教育イノベーションプロジェクト		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
・STEAM教育は素晴らしい取組であるので、成果を多くの生徒に共有できるよう、工夫を続けてほしい。	意見	第1回
・特別支援教育におけるICTの活用が進んでいる。今後も、効果的な活用方法を研究していく必要がある。	意見	第1回
・校務のICT化に関連して、不要な業務までICT化に取り組んでしまわないよう、先に業務内容の精査を行う必要がある。また、ICT化はあくまで負担軽減のための手段であり、目的にしてしまわないよう留意する必要がある。	意見	第1回
・ICTリテラシー育成に係る教材が充実している。今後も、技術の進歩や社会情勢の変化に合わせたICTリテラシーの育成を図っていく必要がある。	意見	第1回
教育委員会全体の取組		
点検・評価委員 意見要旨	報告書掲載方法	第1回又は第2回
・子どもたちが主体的に課題解決の方法を考える教育活動が、様々な場面で行われている。	評価できる点	第2回
・子どもの貧困の問題やヤングケアラーへの支援等については、知事部局と教育委員会が十分に連携し、福祉や医療等の関係機関と協力しながら対応していく必要がある。	課題	第2回